

# 2015年3月期 第2四半期累計決算 説明資料

## 見通しに関する注意事項

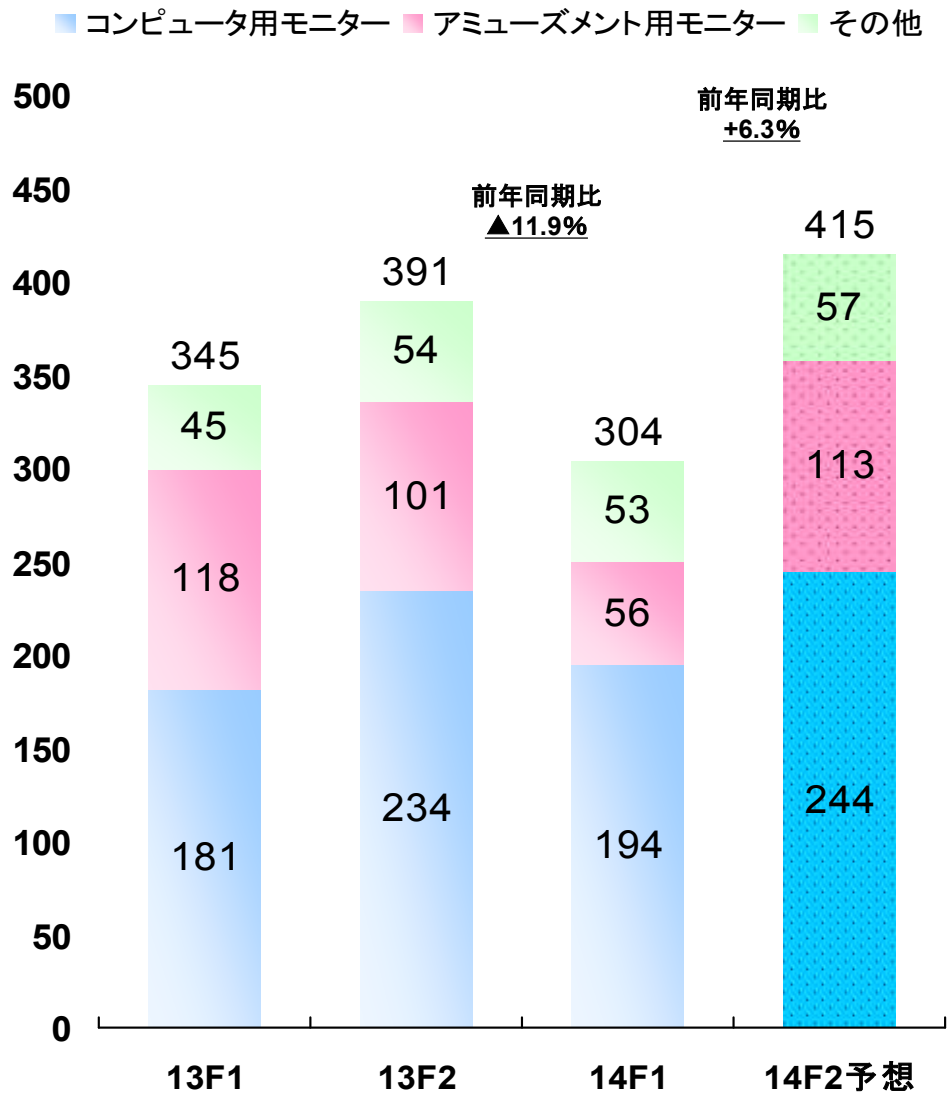
当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の予想数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2015年3月期第2四半期累計は“14F1”となります。

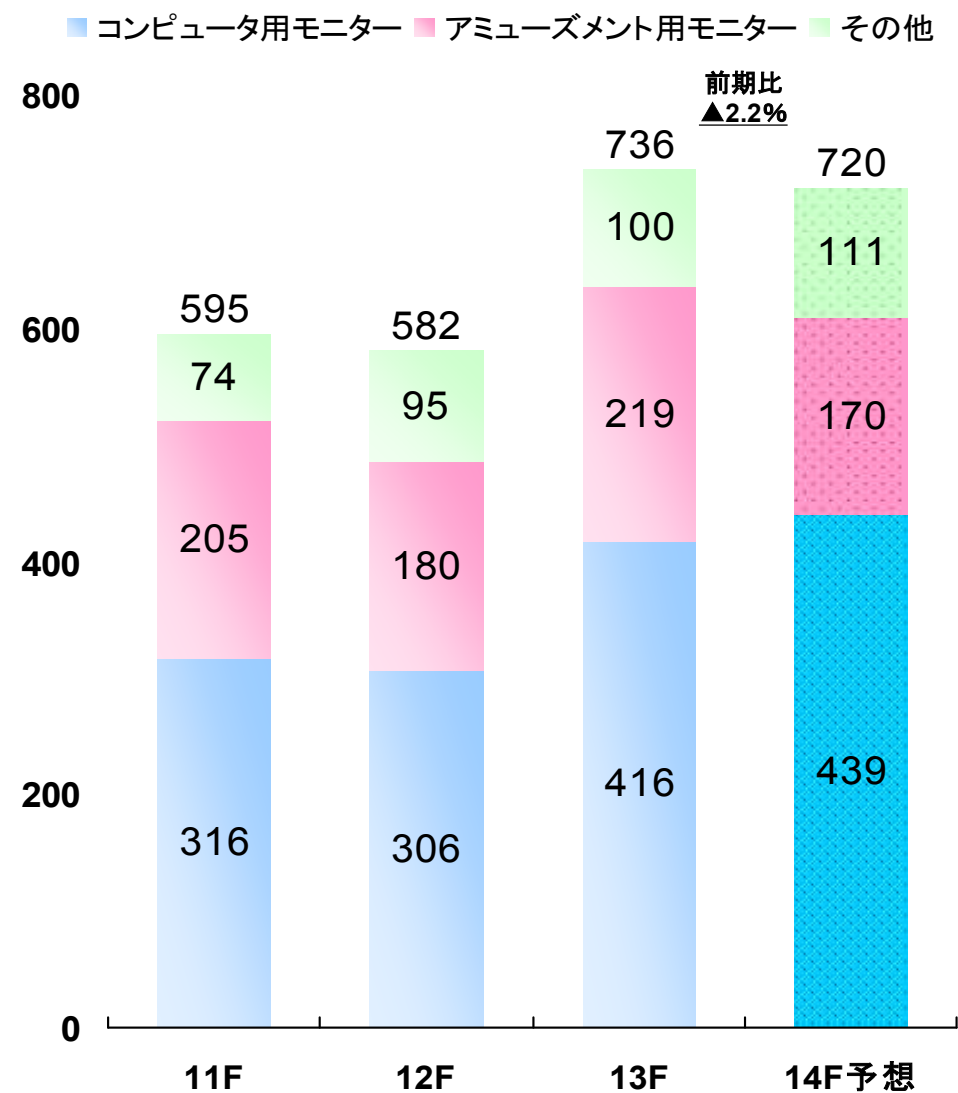
	13F1		14F1		前年同期比	
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	34,531	100.0	30,437	100.0	▲4,094	▲11.9
売上原価	23,631	68.4	21,027	69.1	▲2,603	▲11.0
売上総利益	10,900	31.6	9,409	30.9	▲1,490	▲13.7
販売費及び一般管理費	7,739	22.4	8,359	27.5	+619	+8.0
営業利益	3,161	9.2	1,050	3.5	▲2,110	▲66.8
営業外損益	565	1.6	82	0.2	▲482	▲85.4
経常利益	3,726	10.8	1,132	3.7	▲2,593	▲69.6
税金等調整前四半期純利益	3,726	10.8	1,132	3.7	▲2,593	▲69.6
四半期純利益	2,510	7.3	815	2.7	▲1,694	▲67.5

# 連結売上高推移

## (億円) 半期推移



## 年次推移

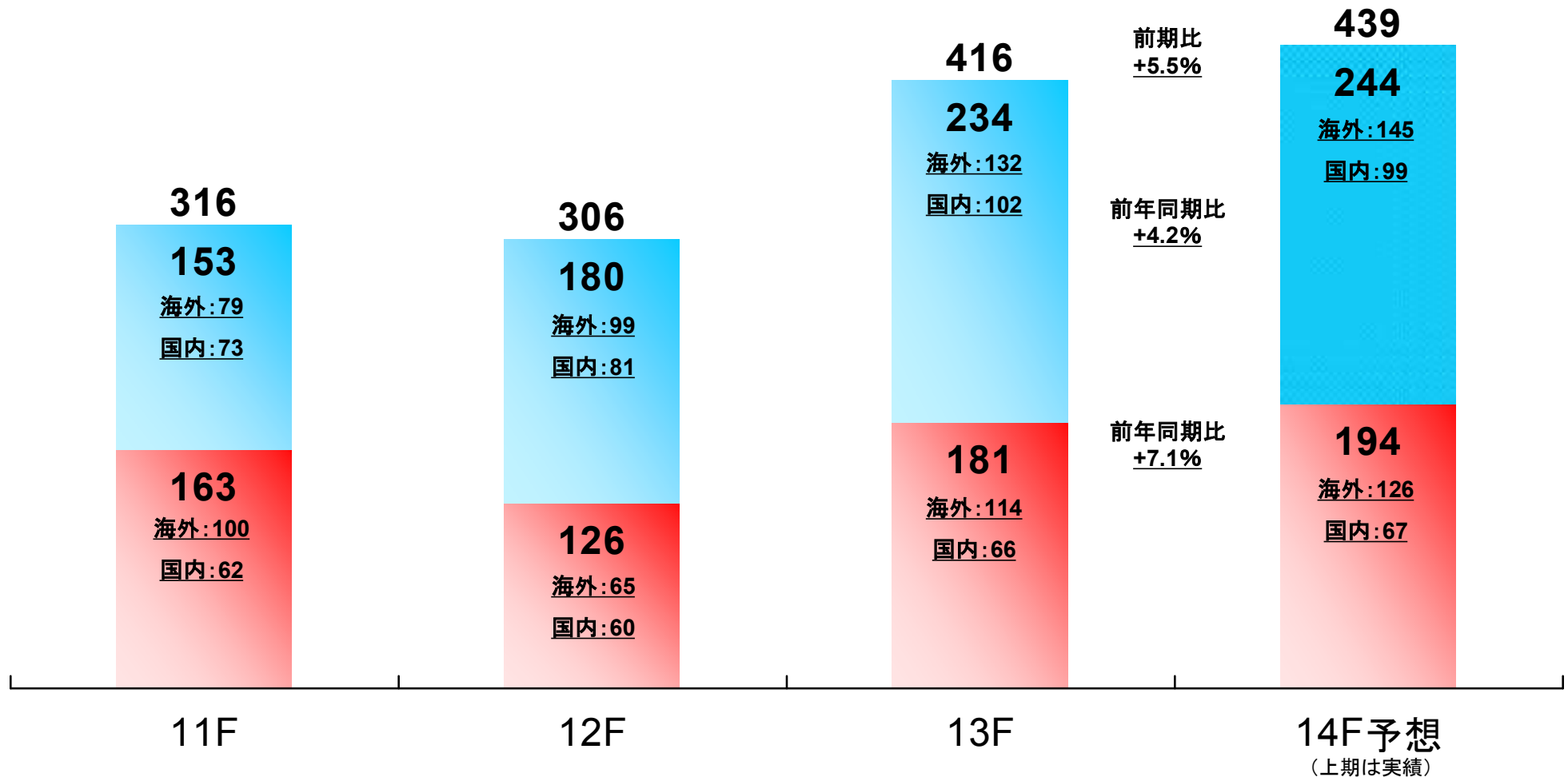


# 品目別売上高推移(1) コンピュータ用モニター

(億円)

■ 上期 ■ 下期

- ・海外は、一般用途向け、特定用途向けともに販売が好調に推移したことから、前年同期比で増収となった。
- ・国内は、主に医療市場向けモニターで消費増税に伴う需要の反動減があったものの、一般用途向け及び産業市場向けモニターの販売が好調に推移し、前年同期比で増収となった。



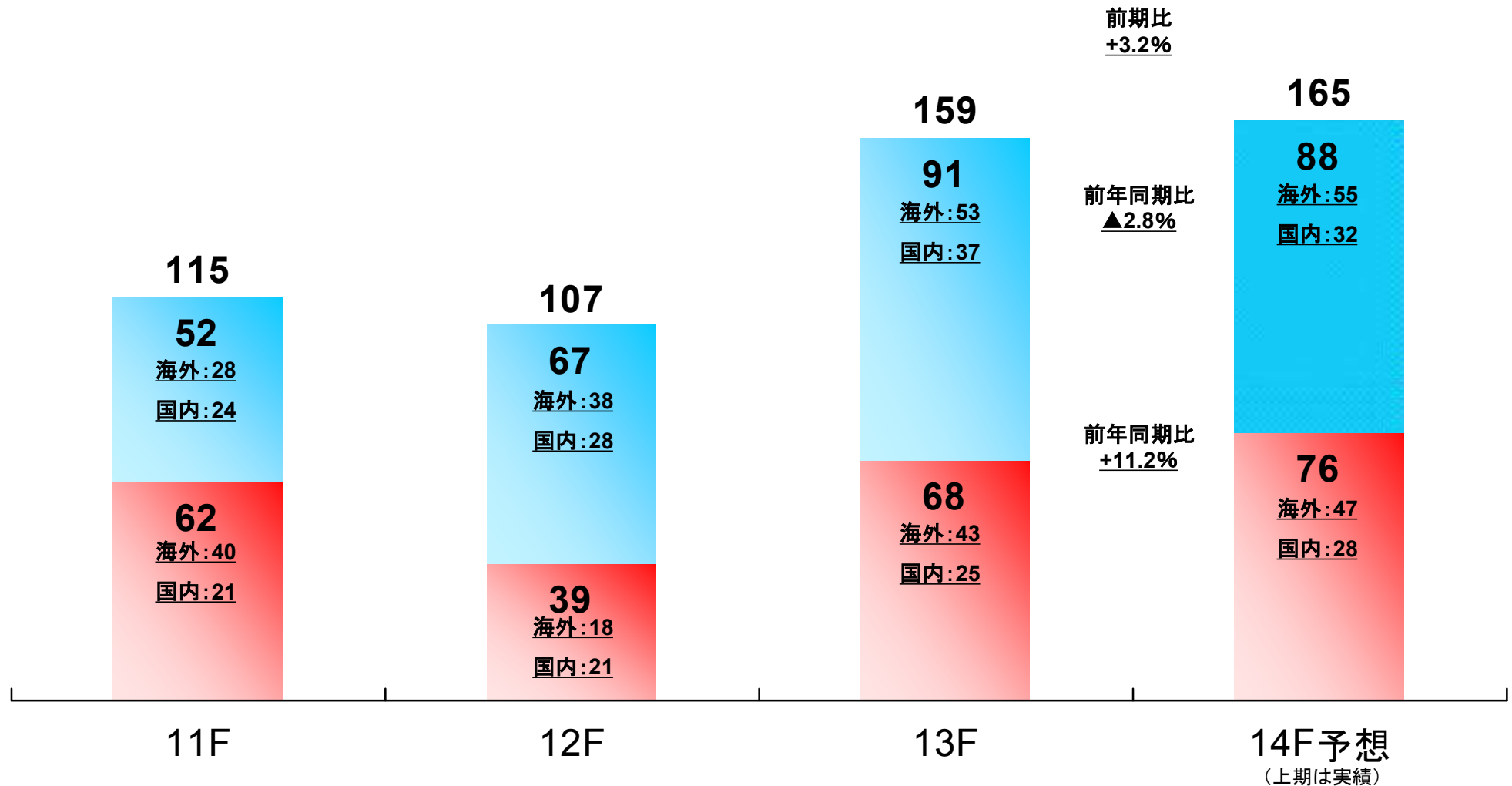


# 品目別売上高推移(2)

## コンピュータ用モニター うち一般用途

(億円)

■ 上期 ■ 下期 ・海外、国内ともに23インチ以上のワイドモニターを中心に販売は増加し、前年同期比で増収となった。



※一般用途 …… 一般法人、文教、個人消費者向け

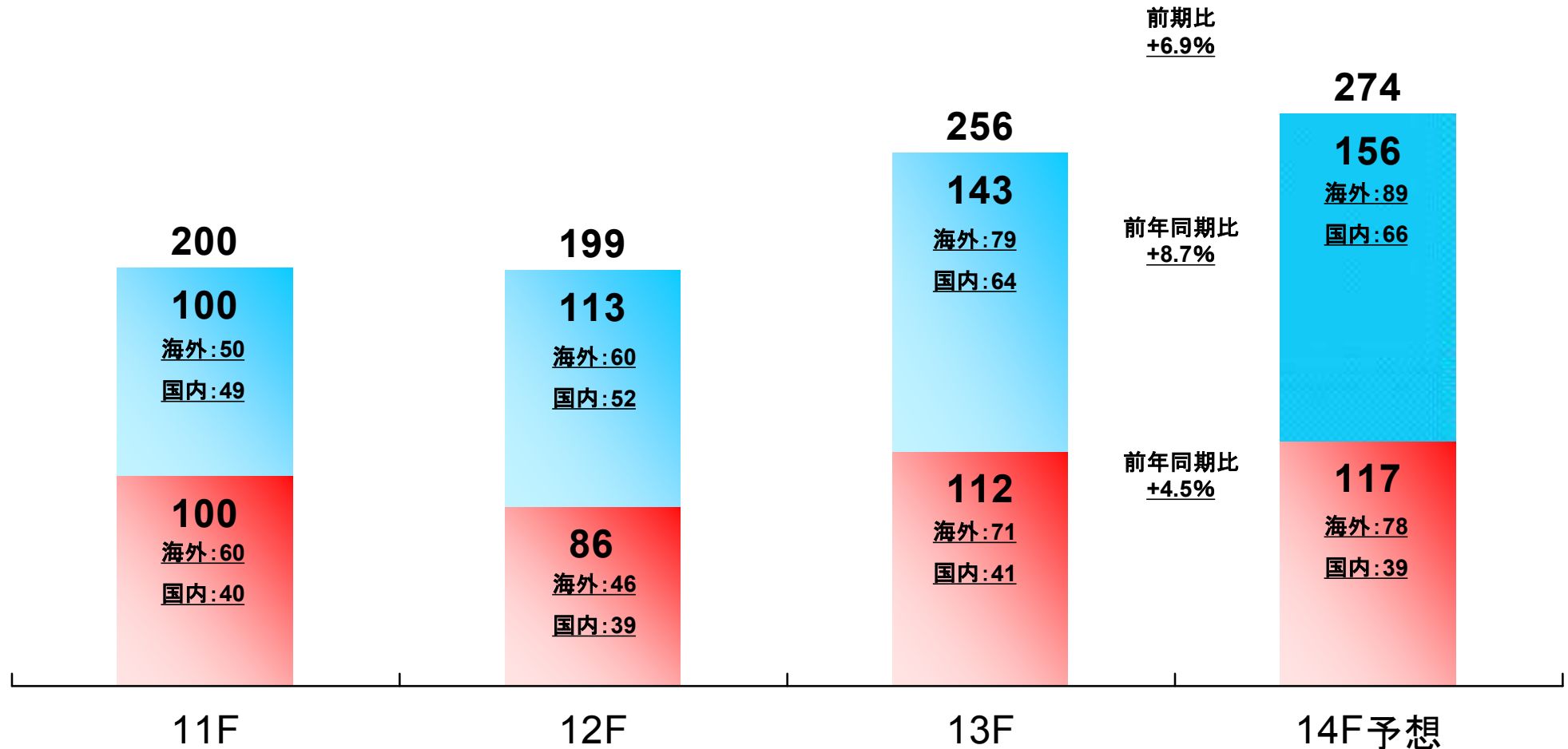
# 品目別売上高推移(3)

## コンピュータ用モニター うち特定用途

(億円)

■ 上期 ■ 下期

- ・医療市場向けは、国内では消費増税に伴う需要の反動減があったものの、海外では堅調に推移したため、全体では前年同期比で微減にとどまった。
- ・産業市場向けは、国内での鉄道車両搭載及び金融や政府系の端末において、販売は好調に推移し、前年同期比で増収となった。



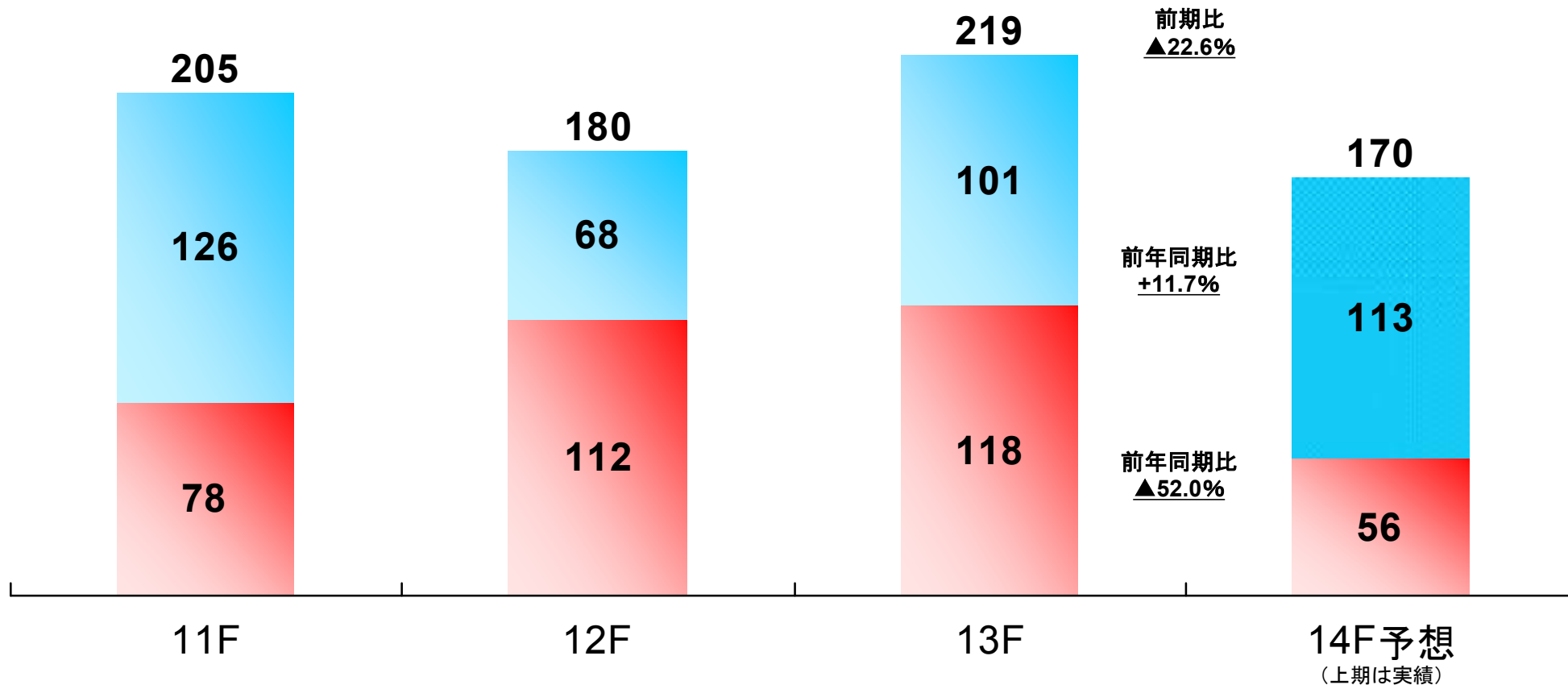
※特定用途 … 医療、グラフィックス、産業、航空管制(ATC)用途向けなど

# 品目別売上高推移(4) アミューズメント用モニター

(億円)

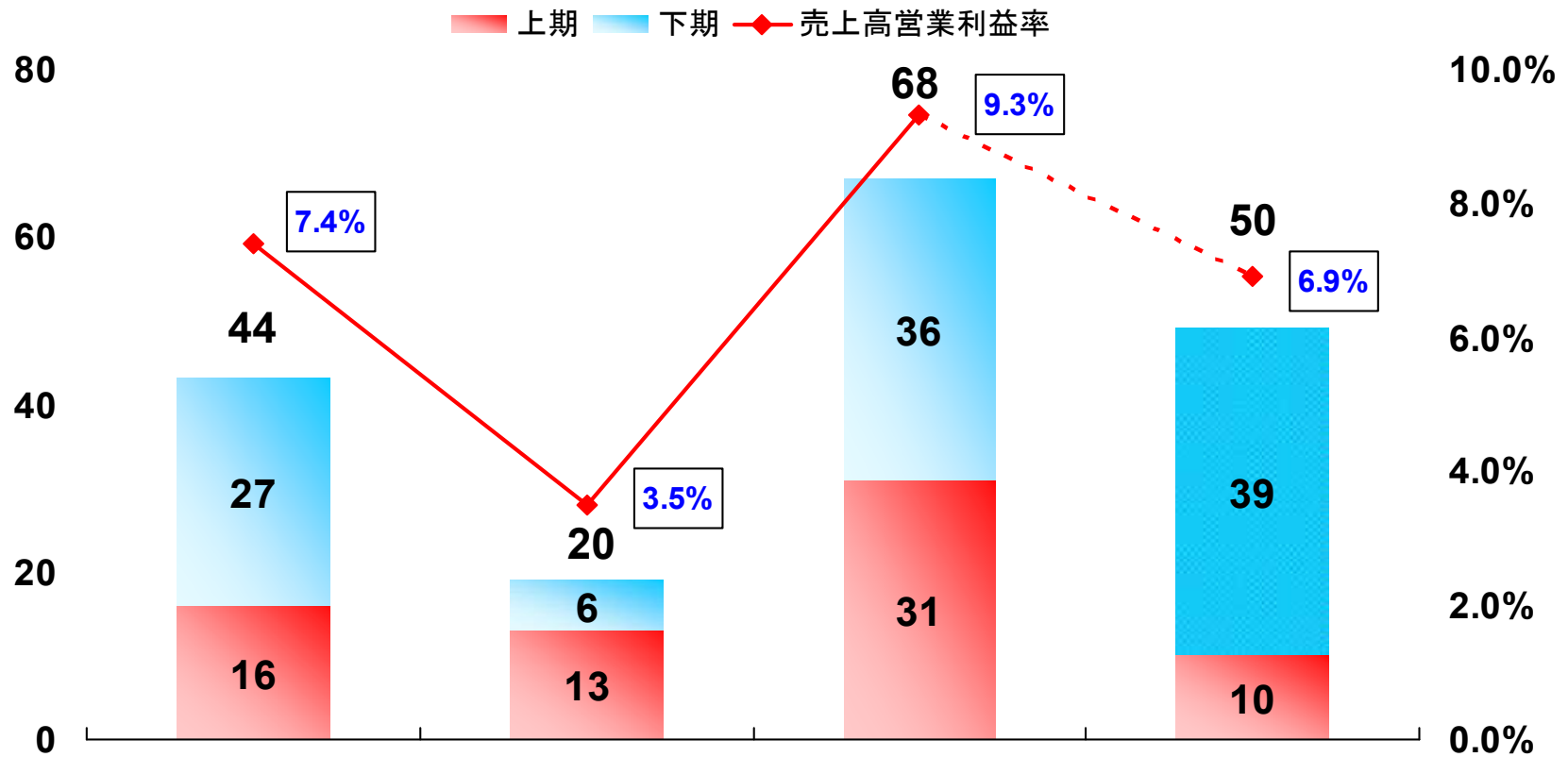
・パチンコ遊技機の販売環境の悪化に加え、新機種の販売が減少したことから前年同期間と比べ、減収となった。

■ 上期 ■ 下期



# 営業利益推移

(億円)



	11F	12F	13F	14F 予想 (上期は実績)
ROA (%)	5.8	4.0	9.3	5.5
ROE (%)	2.8	2.7	8.3	5.1
DOE (%)	1.9	1.8	1.8	1.8
EBITDA (億円)	51	44	97	70

ROA(総資産経常利益率): 経常利益 ÷ 総資産(期首・期末平均) ROE(自己資本当期純利益率): 当期純利益 ÷ 自己資本(期首・期末平均)

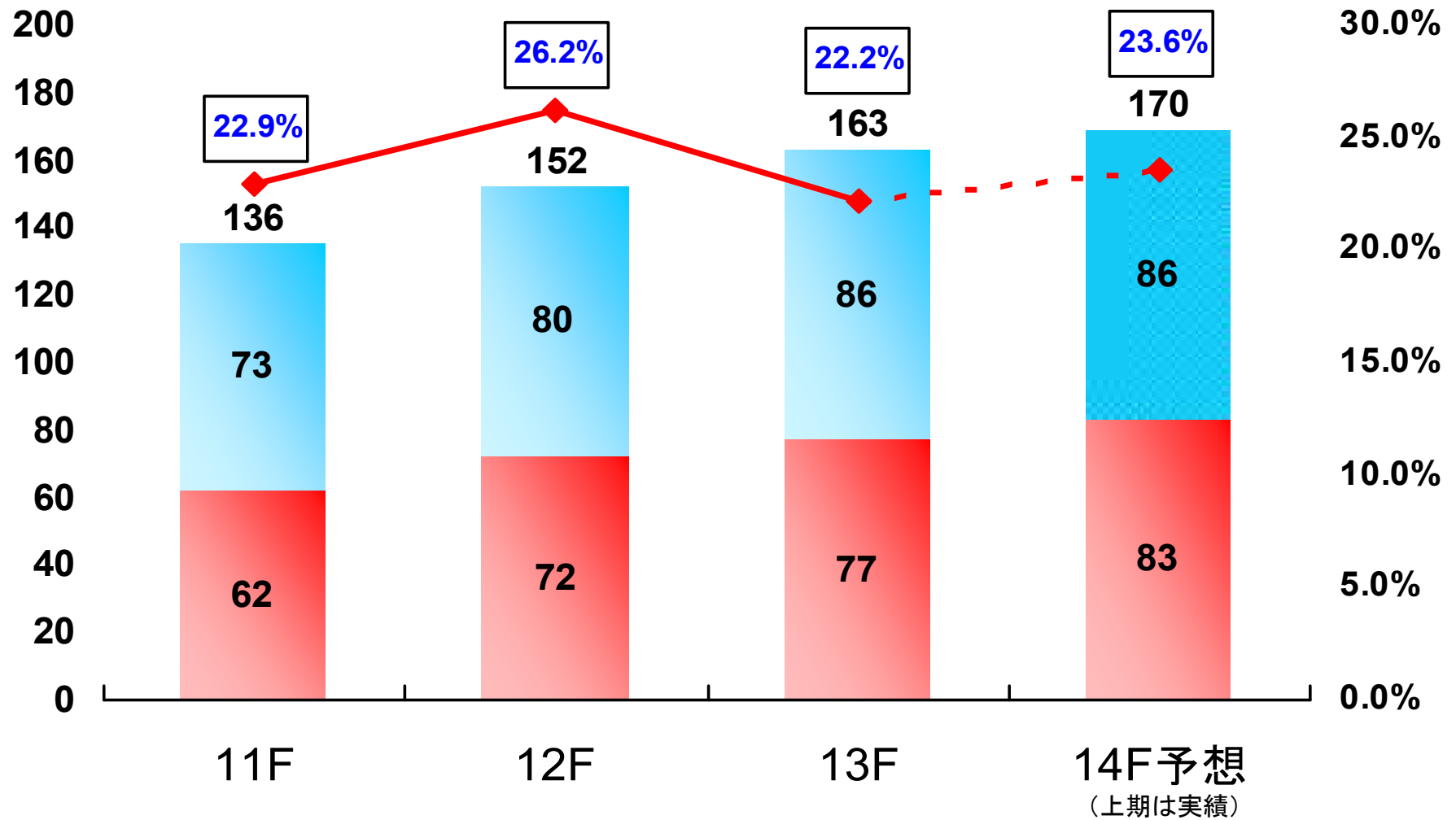
DOE(純資産配当率): 年間配当金総額 ÷ 自己資本(期首・期末平均) EBITDA: 税引前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん等償却費+減損損失



# 販売費及び一般管理費推移

(億円)

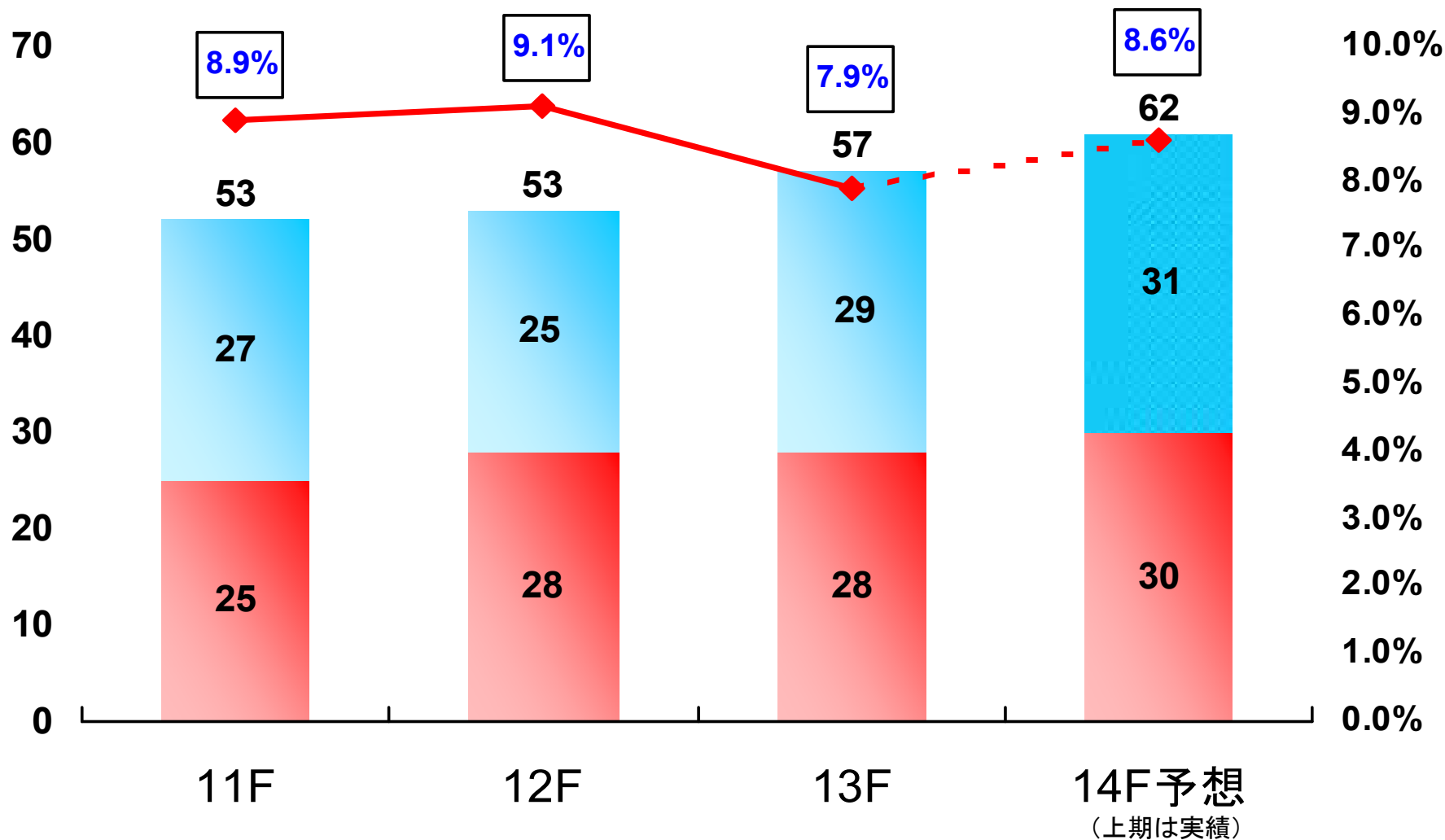
■ 上期    ■ 下期    ◆ 売上高販管費比率



# 研究開発費推移

(億円)

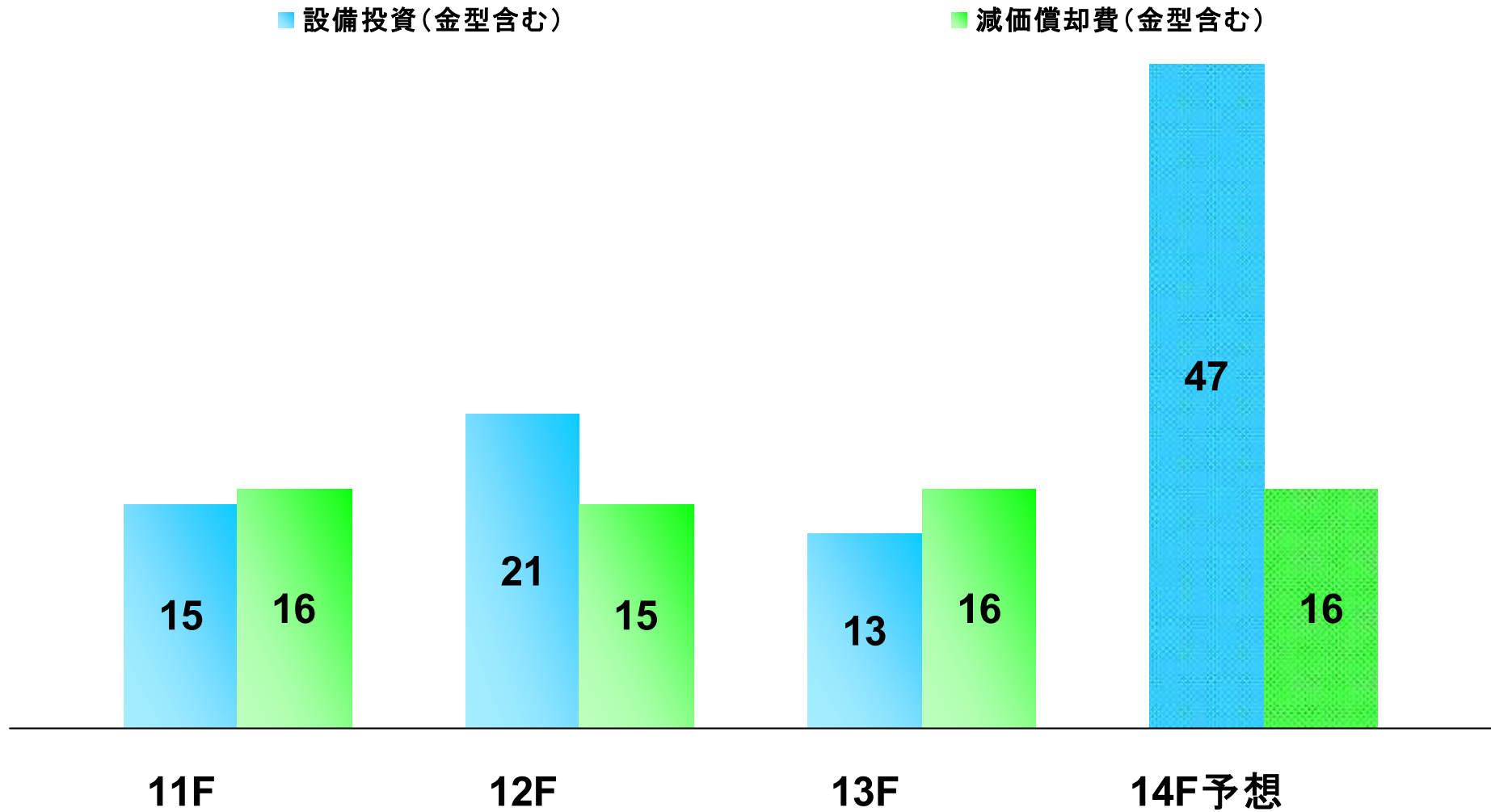
■ 上期    ■ 下期    ◆ 売上高研究開発費率



※研究開発費は製造費用計上分を含む。

# 設備投資推移

(億円)



※14F予想: 増産用新棟建設を予定(28億円)

# 比較連結貸借対照表

(百万円)

	14年3月末 (前期末)		14年9月末 (当第2四半期末)		前期末比 増減額
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
現金及び預金	7,280	7.9	7,317	7.6	+37
受取手形及び売掛金	14,883	16.0	11,294	11.7	▲3,588
たな卸資産	25,374	27.3	30,151	31.3	+4,777
その他の	14,323	15.4	12,218	12.7	▲2,104
流動資産	61,861	66.6	60,982	63.2	▲879
有形固定資産	8,190	8.8	8,284	8.6	+93
その他の	22,879	24.6	27,188	28.2	+4,309
固定資産	31,070	33.4	35,473	36.8	+4,403
資産計	92,931	100.0	96,455	100.0	+3,523
買掛金	7,198	7.7	7,980	8.3	+781
流動負債	15,810	17.0	14,459	15.0	▲1,351
固定負債	7,919	8.5	9,514	9.9	+1,594
純資産	69,201	74.5	72,481	75.1	+3,280
負債・純資産計	92,931	100.0	96,455	100.0	+3,523

※たな卸資産: 海外の年末商戦期に向けての製品積み増し及び、材料の政策的調達により、増加

※固定資産: 投資有価証券の時価評価額のアップ

	13F		14F予想		前期比 増減	前期比 (%)
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)		
売上高	73,641	100.0	72,000	100.0	▲1,641	▲2.2
営業利益	6,833	9.3	5,000	6.9	▲1,833	▲26.8
経常利益	7,998	10.9	5,200	7.2	▲2,798	▲35.0
当期純利益	5,437	7.4	3,600	5.0	▲1,837	▲33.8
品目別売上高	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減	前期比 (%)
コンピュータ用 モニター	41,620	56.5	43,900	61.0	+2,279	+5.5
アミューズメント用 モニター	21,966	29.8	17,000	23.6	▲4,966	▲22.6
その他	10,054	13.7	11,100	15.4	+1,045	+10.4
合計	73,641	100.0	72,000	100.0	▲1,641	▲2.2

※コンピュータ用モニター:14F下期も堅調に推移すると予想

※アミューズメント用モニター:市場環境が厳しいことを考慮

(円/株)

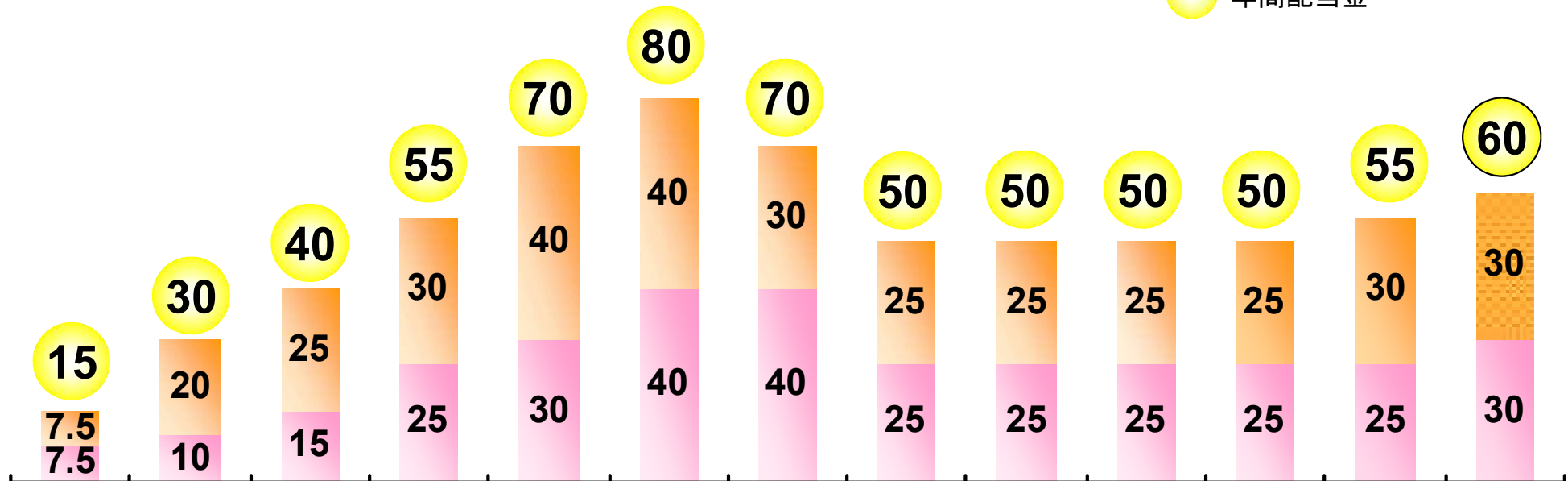
●株主還元方針

- ・事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案の上、株主還元を実施
- ・還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の30%から40%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤を強化

■ 期末配当

■ 中間配当

● 年間配当金



	02F	03F	04F	05F	06F	07F	08F	09F	10F	11F	12F	13F	14F予想
配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	35.5%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	35.5%

※ 配当性向は連結ベース 14F期末配当は予想

※ 自己株買入 2008年/998百万円、2011年/1,661百万円

# EIZO株式会社

石川県白山市下柏野町153番地

〒924 - 8566

○お問合せ

担 当：IR室 出南(でみなみ)

電話番号：076-275-4121

[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)